

一 減給額ハ半額ニ止マリ度シ
 拒絶
 二 年一週ニ返リ日後二週同ハナケ共ニシテ度シ
 拒絶
 三 年二週ノ減給制ヲ制定スルニ度シ
 拒絶
 四 出稼及解雇手当割減等即時制定スルニ度シ
 五 出稼ニシテ以テ直々最底額ヲ発表ス
 六 減給實施期ハ本年ハ変更ナラシムニ度シ
 拒絶
 七 出稼及解雇手当ハ相出ノ分際ニテ支給セラルニ度シ
 八 休日ハ日曜及日大前トナシ度シ
 一六二一 八十二ニノ過共

田答

一 減給額ハ半額ニ止マリ度シ
 拒絶
 二 年一週ニ返リ日後二週同ハナケ共ニシテ度シ
 拒絶
 三 年二週ノ減給制ヲ制定スルニ度シ
 拒絶
 四 出稼及解雇手当割減等即時制定スルニ度シ
 五 出稼ニシテ以テ直々最底額ヲ発表ス
 六 減給實施期ハ本年ハ変更ナラシムニ度シ
 拒絶
 七 出稼及解雇手当ハ相出ノ分際ニテ支給セラルニ度シ
 八 休日ハ日曜及日大前トナシ度シ
 一六二一

6. 2. 27
 2187

第百六十一回

昭和六年二月廿三日 警視總監 丸山鶴吉

内務大臣安達謙藏
 社會局長吉田茂
 各廳長縣長官
 警視總監丸山鶴吉
 警視總監丸山鶴吉

山本工場争議解決ノ件

既標記勞働争議ハ本月十六日午後四時勞資公見交渉ノ結果左
 記條件ニ依リ圖邊解決セリ

一 従業員側ハ工場側ヨリ提示サレタル減給額ニ對シ其ノ六割
 ニ止マル減額ヲ認メテ承忍シタルコト